

平成 31 年度  
予算編成に対する要望書

公明党議員会

| 目 次                      | 頁  |
|--------------------------|----|
| はじめに（平成 31 年度予算編成に対する要望） | 2  |
| 重点要望事項                   |    |
| 1 防災・減災対策の一層の強化推進        | 3  |
| 2 健康づくりの推進と福祉の充実         | 4  |
| 3 子ども・子育て支援事業の充実         | 5  |
| 4 多様な個性が活かされる教育の実現       | 6  |
| 5 ネットワーク型コンパクトシティの推進     | 7  |
| 6 地方経済の活性化               | 8  |
| 7 地球温暖化対策の推進             | 9  |
| 要望項目                     |    |
| I 「子育て・教育の未来都市」の実現に向けて   | 10 |
| II 「健康・福祉の未来都市」の実現に向けて   | 11 |
| III 「安全・安心の未来都市」の実現に向けて  | 12 |
| IV 「魅力創造・交流の未来都市」の実現に向けて | 12 |
| V 「産業・環境の未来都市」の実現に向けて    | 13 |
| VI 「交通の未来都市」の実現に向けて      | 13 |
| VII 「強固な行政経営基盤」の確立に向けて   | 14 |

宇都宮市長

佐藤 栄 一 殿

宇都宮市議会

公明党議員会

平成 30 年 10 月 26 日

### はじめに

我が国の社会経済情勢は、国において、様々な金融・経済政策や成長戦略が打ち出され、株価の上昇など景気回復の兆しが見えてきたところではありますが、北朝鮮情勢の緊迫化や米国の保護主義政策による貿易摩擦など、世界の社会経済情勢は不透明感が高まっております。一方、地方においては、雇用情勢が改善に向かっているとはいえ、依然として経済成長の停滞が続いているなど、まだまだ景気回復の実感が得られていないのが現状であります。

さらに、少子・超高齢社会の進行による人口減少、社会保障費の増加、異常気象による大規模災害の発生など大きな課題が山積しております。

このような中、2050 年度を目標年次とした「第 6 次宇都宮市総合計画」が策定され「子育て・教育・学習」「健康・福祉・医療」「安心・協働・共生」「魅力・交流・文化」「産業・環境」「都市空間・交通」の 6 つの未来都市の実現に向けて取り組みが始まりました。

これらのことをふまえ、平成 31 年度の予算編成にあたっては、多様化する市民ニーズに的確に対応するとともに、52 万市民の希求する生活者重視の施策を着実に実行し、本市が持続的に発展できるまちづくりを推進するため、以下の事項について要望するものであります。

# 重点要望事項

## 1. 防災・減災対策の一層の強化・推進

近年、ゲリラ豪雨・大型台風の暴風雨による浸水被害や、大地震による大規模災害が数多く発生し、多くの尊い人命が失われている。このような惨事が繰り返されないよう、市民の命を守る平常時の防災・減災対策の強化が求められている。

また、防災対策、避難所運営などに、女性の視点をさらに活かすことが必要で、市民の生命と暮らしを守るため、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策が大切である。

### (1) ゲリラ豪雨対策の促進

- 洪水ハザードマップの周知徹底
- 河川改修の促進
- 公共下水道雨水幹線の整備促進
- 急傾斜地崩壊防止対策の促進
- 浸水想定区域などの点検の際、要配慮者宅に必要な応じて土のうを事前配布

### (2) 建築物耐震化の一層の推進

- ブロック塀の安全対策強化
- 橋りょうの耐震化・長寿命化の推進
- 木造住宅の耐震診断・耐震改修・耐震建て替えに対する助成制度の拡充
- 市有施設における非構造部材の耐震化推進

### (3) 地域防災力の強化

- 単位自治会ごとの地域防災マップ作成推進
- 防災セミナーの開催と参加促進

### (4) 災害時要配慮者支援の強化

- ネット119緊急通報システムの導入
- 高齢者施設などに対する、避難計画の作成、避難訓練の実施などの徹底
- 要配慮者・避難支援者の防災訓練実施

### (5) 避難所の施設・設備の整備

- 飲料水、非常食、液体ミルク、災害用トイレ等備品の整備拡充
- 自家発電、災害対応型ガスバルクシステム等設備の整備拡充
- 避難所運営のためのHUGの活用推進

(6) 女性の視点での防災強化

- 宇都宮市防災会議への女性委員の積極的登用
- 内閣府の「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」を活用し、平常時から女性防災リーダーを養成するための講座開催

## 2. 健康づくりの推進と福祉の充実

生涯にわたり健康的で長く楽しく暮らすためには、日常生活の中で手軽にスポーツにふれあう環境を作りだし、健康寿命と自立生活力の向上を図る必要がある。

超高齢社会に対応した地域の健康づくりと福祉の充実を図り、生活弱者にも優しい健康長寿を支える体制の整備が求められている。

(1) 地域包括ケアシステムの構築

- 地域包括支援センターの機能強化及び周知徹底（案内看板の設置等）
- 介護職員のさらなる待遇改善の推進
- 認知症見守りシステムの拡充と認知症サポーターの育成推進
- 障がい者・難病患者の相談窓口の充実及び支援体制の強化

(2) がん対策の強化

- がん検診に胃がんリスク検診を追加実施
- 未受診者への個別受診勧奨・再勧奨（コール・リコール）の強化
- がん教育の推進

(3) 肝炎重症化予防対策の強化

- 肝炎の予防・治療に係る正しい知識の普及啓発と情報提供の推進
- 肝炎ウイルス検査の受診率アップ
- 医療機関での無料肝炎ウイルス検査の実施
- 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業の強化

(4) 健康増進・寿命延伸のための環境整備

- ドクターカーの積極的導入支援
- 高齢者の運転免許返納促進と外出支援の強化
- 高齢者等地域活動支援ポイント事業の拡充
- 健康ポイント事業の強化拡充

### 3. 子ども・子育て支援事業の拡充

近年、子どもの貧困や虐待問題など、子どもを取り巻く環境は厳しさを増しており、人口減少時代に突入した今日、安心して子育てできる環境づくりが、喫緊の課題である。

妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援策で、出生率の増加や児童虐待の防止・減少に確実につなげることが大切である。

(1) 児童虐待防止対策の推進

- 子ども家庭総合支援拠点の設置など相談体制の強化
- 児童虐待の早期発見と、きめ細かい対応の強化

(2) 保育・幼児教育の無償化

(3) 待機児童解消の推進

- 保育施設・保育サービスの拡充
- 保育士の待遇改善による人材確保

(4) 妊娠・出産から育児までの切れ目のない支援を拡充

- 産前産後サポート体制の充実
- 産後うつ早期ケアの推進
- 病児・病後児保育の支援拡充

(5) 生活困窮世帯への学習支援拡充とひとり親家庭の生活・就労支援強化

- 子ども食堂の支援

## 4. 多様な個性が生かされる教育の実現

教育の目的は、子どもたちの“幸せになる力”を引き出すことであり、教育は知識を糧に無限の創造性、主体性を発揮しうる人間をはぐくむ作業と言える。

近年、家庭の経済事情による教育格差が拡大しつつある。教育の格差を是正し、貧困の連鎖を断ち切るためには、教育の機会均等を図るとともに、すべての子どもたちが個性や学習状況に応じて質の高い教育が受けられるようにすることが重要である。

### (1) 宮っ子ステーション事業の抜本の見直し

- 子どもの家等運営体制の見直し
- 子どもの家等施設の整備拡充

### (2) 学校における働き方改革の推進

- スクールサポートスタッフの導入推進
- 部活動の外部指導員・部活動指導員の拡充と県への協力要請
- 長時間労働の見直しとメンタルヘルス対策の推進
- 教職員体制を整備拡充し「チーム学校」を推進

### (3) いじめ・不登校の早期発見ときめ細かい対応の推進

### (4) 学校における人権教育の推進

- 教職員のインクルーシブ教育推進
- 心のバリアフリー教育の推進

### (5) 公立夜間中学の新設

- 県との協議会の設置

## 5. ネットワーク型コンパクトシティの推進

人口減少、少子・超高齢社会を迎えるに当たり、本市が持続可能な発展をするためには「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成が必要である。地域の特性に応じた特徴ある都市機能や施設を配置した拠点の形成と、各拠点へアクセスできる移動環境（交通ネットワーク）を提供することが重要である。

本市は、東西方向に弱点のある公共交通の基軸として新たにLRTを敷設し、各拠点を結ぶ路線バスの再編、地域を面的にカバーする地域内交通の整備で、高齢者や交通弱者に優しいまちづくりが喫緊の課題である。

- (1) 都市拠点の機能を充実し、魅力ある都市の形成
  - 中心市街地のにぎわい形成
  - JR宇都宮駅東口地区の着実な整備
  - JR宇都宮駅西口周辺の再開発推進
- (2) LRTを基軸とする公共交通の整備推進
  - JR宇都宮駅東側区間のLRTの着実な推進
  - JR宇都宮駅西側区間のLRTの延伸計画の確立
  - 多様な媒体を活用した広報活動で市民理解の促進
- (3) 公共交通の充実で自動車に過度に依存しない社会の実現
  - 交通ICカードの導入推進
  - 路線バス・地域内交通の強化・再編で公共交通空白地域の解消
  - 交通結節点の整備促進で階層性に優れた交通網の確立
- (4) 個性豊かな地域拠点の形成で、ハード・ソフト両面を充実
  - 空き家・空き地対策の推進と有効活用の促進
  - 老朽化した特定空き家の解消促進
  - 密度の高い居住地域の住環境（充実した訪問医療・介護体制）の形成



## 6. 地方経済の活性化

地域経済の発展のためには、産業・経済の環境変化に的確に対応しながら、地域産業の創造性・持続性を高めるとともに、新たな雇用の確保と安定化を図る必要がある。また魅力ある農業を推進する政策や観光交流の一層の促進を図ることが大切である。

### (1) 宇都宮市中央卸売市場の活性化推進

- 食の安心・安全のためのインフラ整備（コールドチェーン化・屋根付き荷捌所など）
- 市民が親しみやすい関連施設のリニューアルと特色あるイベント開催の促進
- 若者雇用促進と効率的な運営のための市場休日見直し

### (2) 新たな企業誘致と雇用の促進

- 産学官連携による新産業の誘致と起業支援の強化
- 地元中小企業・小規模事業者の活力向上と人材の育成支援
- 県「とちぎジョブモール」と連携した効果的な就労支援

### (3) 「魅力ある農業」の促進

- **農福連携の推進**
- 新規就農者と担い手の確保・育成の強化
- 農商工連携による6次産業の振興
- 農畜産物のブランド化と国内外への販路拡大

### (4) 魅力ある観光交流の促進

- **大谷スマートICの整備推進**
- 大谷地域の観光・産業振興と情報発信の強化
- **外国人観光客誘客のための環境整備促進**
- ジャパンカップ・3x3・餃子祭りなどビッグイベントの継続拡充
- 自転車のまちにふさわしいサイクリングロードの整備促進

## 7. 地球温暖化対策の推進

環境省は、二酸化炭素など温室効果ガスの削減目標「2030年度に2013年度比26%減」を踏まえた事業を推進している。

本市が将来にわたり持続的に発展していくために、温室効果ガスを削減し、地球環境を維持・改善していく体制の構築が急務である。

省エネ・再エネの促進、ゴミ減量化、環境教育に取り組み、環境に配慮したまちづくりにより「選ばれるまち」を実現すべきである。

### (1) 食品ロス削減の推進

- 家庭における食品の適切な管理や有効活用の普及啓発
- 保育園・学校等における食品ロス削減の食育・環境教育の推進
- フードバンクへの支援強化

### (2) 再生可能エネルギーの普及促進

- 公共施設・民間施設へのバイオマス発電設備の導入促進
- 多様な再生可能エネルギーの普及促進

### (3) CO<sub>2</sub>など温室効果ガス排出量の削減推進

- **LR T沿線における低炭素化の推進**
- 電気自動車の普及促進
- 分別学習でリサイクル意識の向上
- ごみ減量化で焼却CO<sub>2</sub>を削減
- 中心市街地の緑化推進、市民協働による都市緑化活動の促進

### (4) **資源の有効活用推進（レアメタルの回収、新たな資源化事業の導入等）**

# 要望項目

## I 「子育て・教育の未来都市」の実現に向けて

### ● 「子育て分野」

- 新生児聴覚検査の助成
- 特定不妊治療の周知支援
- ニーズに対応した保育環境の充実
- 奨学金・入学一時金・返還免除型育英修学資金貸付等制度の拡充
- 奨学金返済者への負担軽減制度の創設

### ● 「教育分野」

- 特別教室へのエアコン設置
- 英語教育の充実
- 学校トイレの洋式化と衛生環境の改善
- 教職員の日常的疑問・困りごと解決のためのガイドブック作成
- 体罰根絶の実現
- 交通安全教育の強化
- 平和教育の推進強化
- 中高生への主権者教育の強化など政治参加の促進
- 発達障がい児への支援強化と特別支援教育の充実

### ● 「学習分野」

- 北西部地域への体育施設整備推進
- スポーツ等でがんばる子どもたちを顕彰する制度の拡充
- 地域スポーツクラブの支援拡充
- 高齢者向けスポーツ活動の推進
- 市立図書館のサービス向上
- 社会教育支援の充実（親学の推進等）

## Ⅱ 「健康・福祉の未来都市」の実現に向けて

### ● 「健康分野」

- 風疹のワクチン接種普及推進
- 健康診査受診率の向上
- 地域での健康づくり推進委員の育成と健康づくり活動の促進
- うつ、自殺予防対策の強化
- 受動喫煙防止の推進
- 危険ドラッグ等薬物乱用防止対策の推進

### ● 「福祉分野」

- 介護予防事業の強化
- 生活保護受給者・生活困窮者の自立支援強化
- 公共施設（投票所含む）のバリアフリー化および情報バリアフリーの推進
- ユニバーサルデザインの推進
- 障がい者雇用の促進と授産品の積極的な活用の推進
- 障がい者の居宅・通所サービス提供の充実
- 障がい者日常生活用具事業の見直しと拡充
- 成年後見人制度の普及啓発と市民後見人の育成

### ● 「医療分野」

- 在宅医療・地域医療に係わる医師の確保
- 夜間休日診療所の充実（診療科の増設等）

### Ⅲ 「安全・安心の未来都市」の実現に向けて

#### ● 「安心分野」

- 消防団員確保と待遇向上
- 住宅用火災警報器の設置促進
- 道路陥没予防のため路面下空洞調査の実施
- 防犯カメラ整備拡充と防犯灯のLED化促進
- AEDの設置と救命講習等の促進
- 交通安全施設の整備拡充
- 消費者被害の対策強化

#### ● 「協働・共生分野」

- 地域まちづくり協議会への支援強化（交付金の増額等）
- 孤独死の防止対策強化
- 青少年のボランティア活動への参画促進

### Ⅳ 「魅力創造・交流の未来都市」の実現に向けて

#### ● 「魅力分野」

- 東京圏からの移住・定住の促進
- 婚活事業の支援強化
- 自転車利用者の交通安全対策の促進（条例の制定を含む）
- 道路ネットワークの構築と自転車専用通行帯の整備促進

#### ● 「交流分野」

- 外国人住民のための生活相談充実
- 地域資源を活用した戦略的観光の推進（市民への観光情報の発信等）
- 特産物や花と緑など新たな観光資源の創出

#### ● 「文化分野」

- 地域伝統文化継承団体・伝統工芸品産業振興団体、後継者育成などへの支援拡充
- 子どもの文化芸術活動への支援
- 百人一首事業のさらなる振興

## V 「産業・環境の未来都市」の実現に向けて

### ● 「産業分野」

- 企業誘致のための新たな工業団地整備推進
- ろまんちっく村魅力アップ事業の推進
- 農地集積の促進
- 山林の整備と市産木材の利活用の促進
- ワークライフバランスの構築推進
- 若者雇用・女性再就職マッチング事業の拡充
- 若者の正社員化を促進する支援の拡大
- U I J ターン促進のため全国へ情報発信の強化

### ● 「環境分野」

- プラスチックごみの削減推進
- 剪定枝リサイクル化の推進
- 水辺環境の保全・整備推進
- 「もったいない残しま10」運動の周知啓発

## VI 「交通の未来都市」の実現に向けて

### ● 「都市空間分野」

- まちなか大谷石活用事業の推進
- 中心市街地活性化のための低未利用地対策推進（コインパーキング等）
- 上下水道の経営基盤強化（有収率・収納率の向上、民間委託の積極的導入等）
- 上下水道施設の耐震化推進
- 老朽上下水道管の更新促進

### ● 「交通分野」

- バスロケーションシステムの充実
- パークアンドバスライドの整備促進等利便性の向上
- 北海道新幹線（はやぶさ）の宇都宮駅停車の実現

## Ⅶ 「強固な行政経営基盤」の確立に向けて

### ● 「行政経営分野」

- 消費増税に伴う対策と対応
- 行政データのデジタル化と活用の促進
- 情報セキュリティ対策の強化
- 民間活力の積極的な活用
- ふるさと納税の取り組み強化
- 自主財源の積極的な確保
- 公会計制度の着実な推進